

13 バドミントン 総評

外気温が30℃を超え、体育館内では熱中症対策が必要となるほどの熱気の中、3日間にわたり激しい戦いが繰り広げられた。

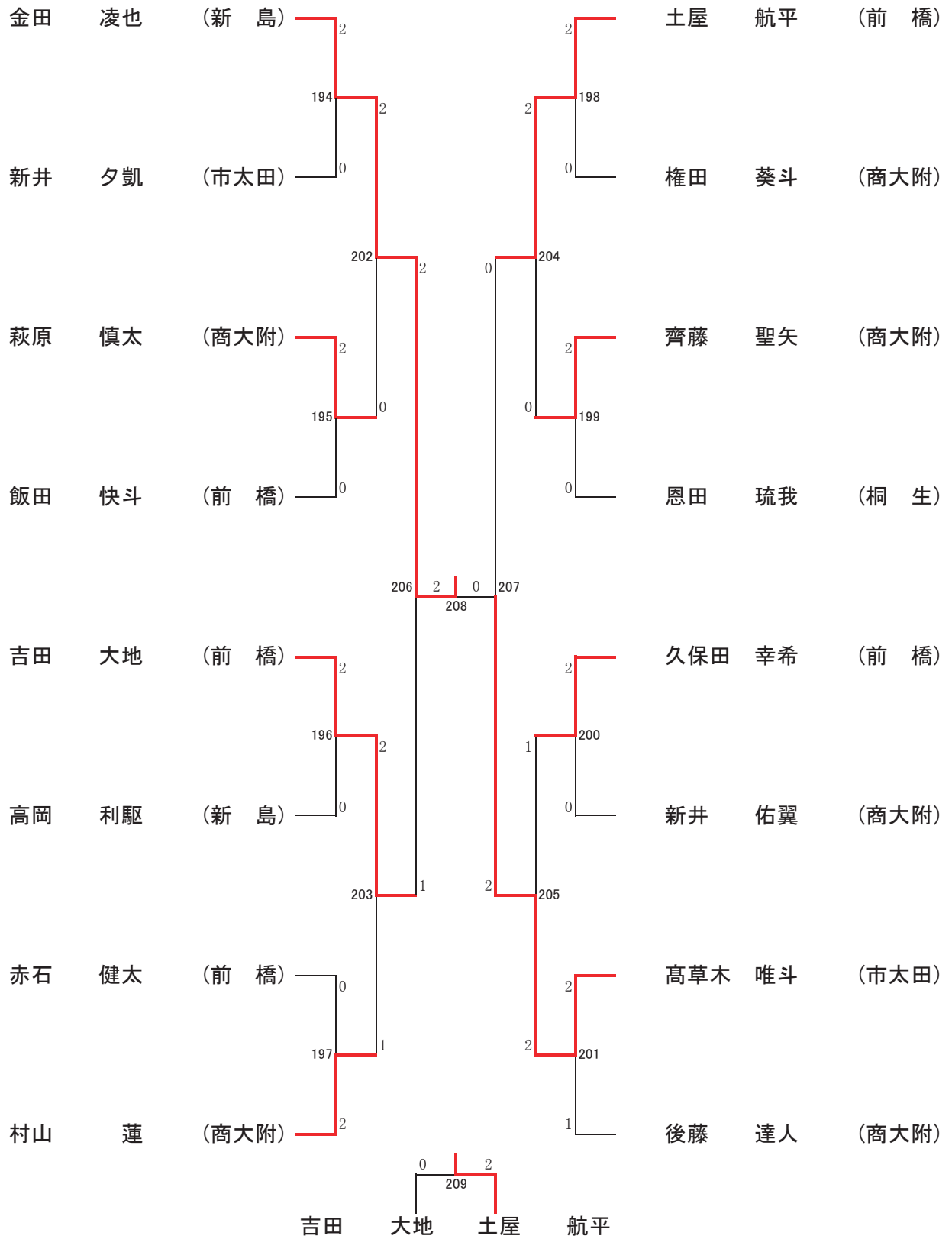
初日に行われた男子学校対抗戦は、第1シードから順当に勝ち上がった商大附と、第2シードの前橋による、両校とも初優勝を目指す対戦となった。第1ダブルスでは、飯田快斗・吉田大地（前橋3・3）と、新井佑翼・村山蓮（商大附3・3）が一進一退の攻防を繰り広げた。シングルスでは、後藤達人（商大附3）が土屋航平（前橋2）を2-0で圧倒した。第2ダブルスでは、齊藤聖矢・権田葵斗（商大附3・2）が久保田幸希・吉田吏玖（前橋3・2）を2-1で制し、マッチカウント2-0で商大附が初優勝を飾った。

女子学校対抗戦の決勝は、第4シードを撃破し勢いに乗る第5シードの桐生を2-1で下した商大附と、第2シードの市太田との対戦となった。第1ダブルスでは、磯野友香・久保奈津（商大附3・2）が町田喜愛・土屋愛莉（市太田3・1）を下した。さらに、第2ダブルスでは、新井爽月・井上舞桜（商大附3・2）が中島綾音・松本詩穂里（市太田2・2）を下し、商大附が2大会連続2回目の優勝を飾った。この結果、6月に調布市で開催される関東大会へ、男子は商大附、前橋、新島、市太田、女子は商大附、市太田、桐生、桐商が出場する。

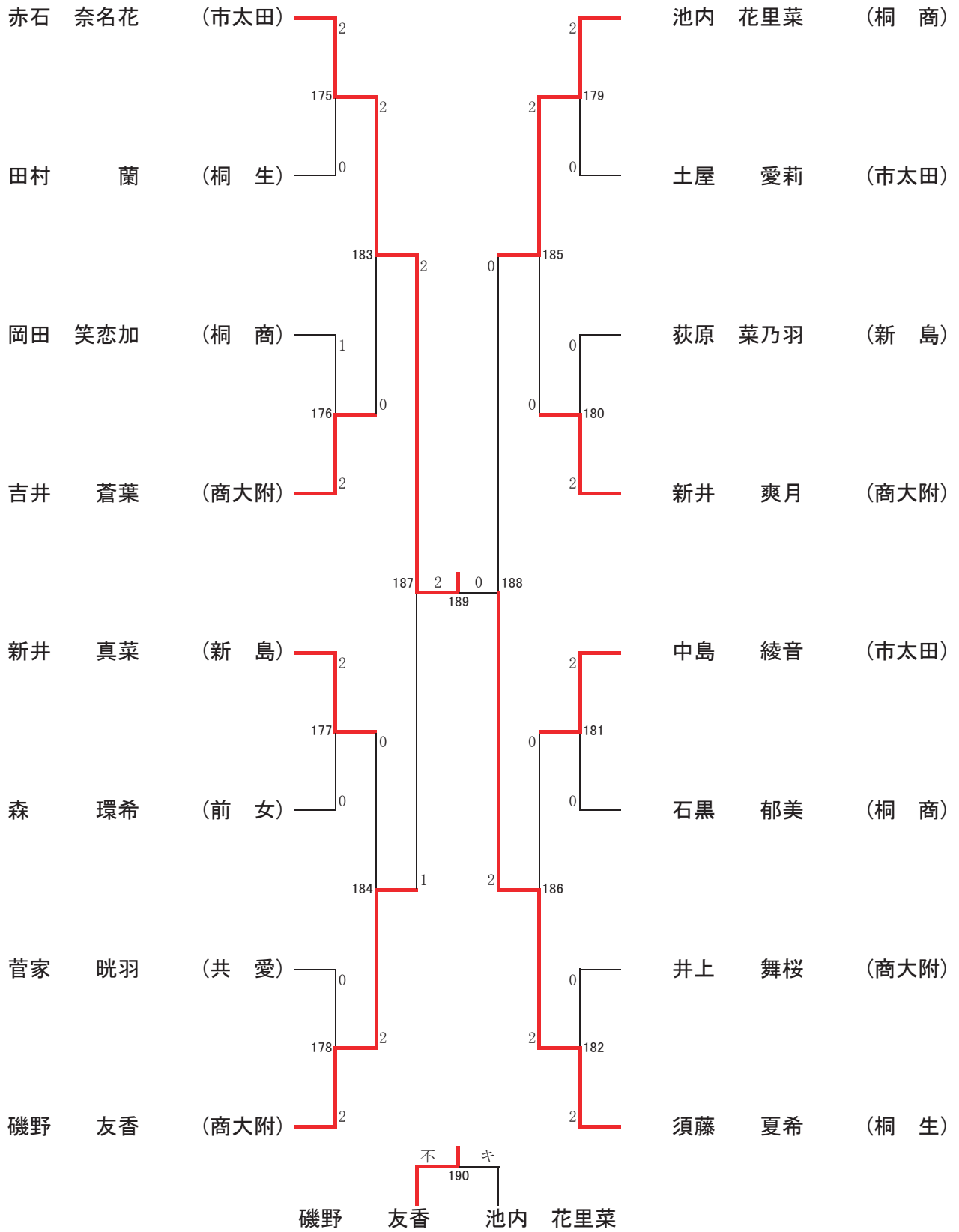
2日目、3日目に行われた個人戦男子シングルス決勝では、第1シードから順当に勝ち上がった金田凌也（新島3）と、1年生ながら第2シード、第3シードを相次いで撃破し勢いに乗る高草木唯斗（市太田1）の対戦となった。金田が2-0で危なげなく制し、優勝を果たした。

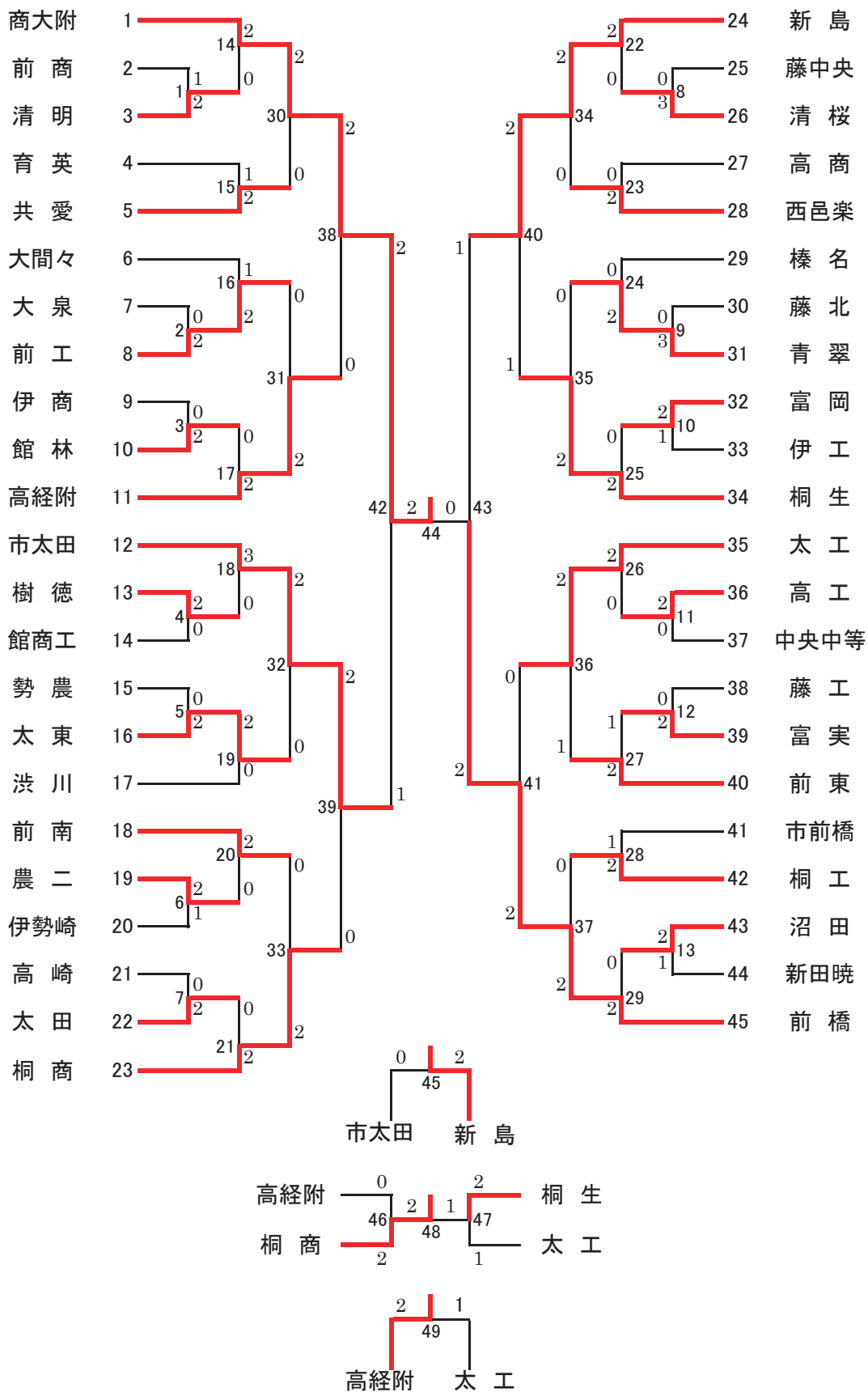
女子シングルス決勝は、第1シードから順当に勝ち進んだ赤石奈名花（市太田3）と、第2シードから勝ち上がった須藤夏希（桐生3）の対戦となった。粘り強い試合を展開した赤石が2-0で勝利し、新人大会に続く優勝を飾った。この結果、男女各上位2名が、7月に和歌山市で開催される全国高校総体への出場権を獲得した。

R8 県総体男子シングルス(MS) ベスト16
(209)

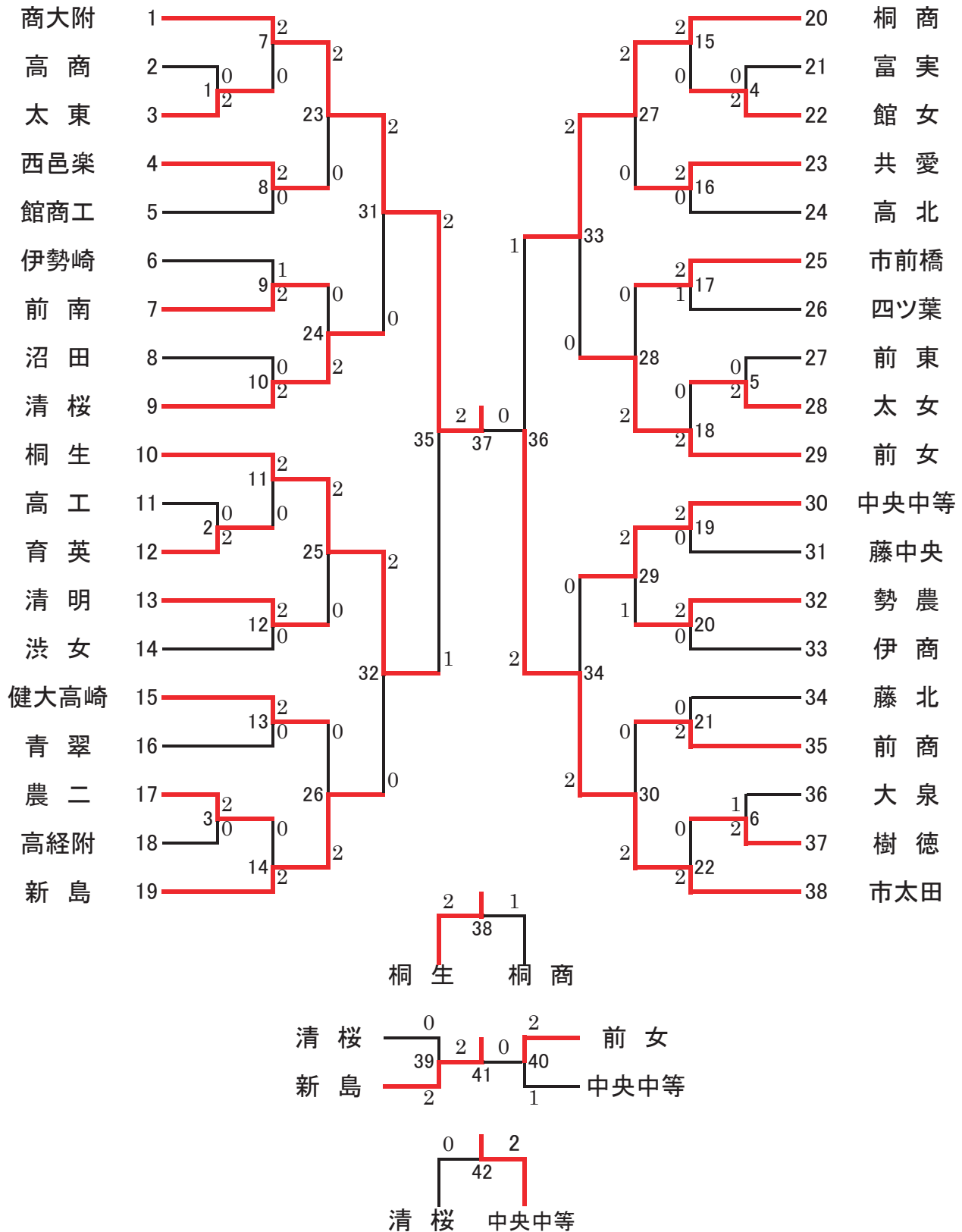


R8 県総体女子シングルス(WS) ベスト16
(190)





商大附 は、初優勝
 商大附、前橋、新島、市太田は関東大会出場



商大附 は、2回連続2回目の優勝
商大附、市太田、桐生、桐商は関東大会出場